

ふるさと交流だより

農村ボランティア
会員会報

丹波黒大豆の苗の植え付けをしました

最近農村ボランティアへご登録いただいた方にご案内し、加東市にある“ふるさとむら平木”で丹波黒大豆の苗の植え付け作業をお手伝いしました。

6月28日(日)、神戸市役所花時計前に集合。加東市平木地区に向かう貸し切りバスは、8時半に出発しました。バスの中で、農村ボランティア制度や平木地区の説明、兵庫楽農生活センターホームページの紹介などをしながら、平木公民館に到着。直接現地に集合された方々と合流し、苗の植え付け方法をお聞きした後、早速、丹波黒大豆の圃場へ移動しました。

目の前に広がる圃場の広さに心配したのもつかの間、準備していただいた大豆の苗は、あっという間になくなり、ふるさとむらの方が慌てて苗代に走ってくださいました。午前うちに予定していた圃場の植え付けが終わりました。

一旦公民館へ戻って、平木自治会の河合区長、“ふるさとむら平木”代表の井上さんから地区の紹介や活動についてのお話をお聞きした後、



地元の方々が作ってくださった美味しい昼食をいただき、しばしの休憩。

午後は、公民館近くの次の圃場へ移動。参加者の皆さんの手際良さに、午前同様苗の準備が追いつかず、待ち時間を利用して、既に苗が植わっている圃場の草引き作業をしました。待望の苗が届きましたが、またもやあっという間に植え付けが終了。心配していた雨も降らず、良いお天気の中で一日の作業を終えました。丹波黒大豆のきな粉をまぶした、作りたての美味しいわらび餅をいただいた後、帰路につきました。

参加されたボランティアの方からは「初めての農作業でしたが、親切教えて頂きお役に立てて良かったです」という声をいただきました。



平木地区では黒大豆のほか、休耕田でソバも栽培していることから、苗の植え付けの後は、除草作業、収穫作業に引き続きそば打ち体験などを交えてボランティアの方々と交流を深めていきたいとのことでした。



ふるさとむら辻で放棄田の 草刈り作業

7月12日(日)、篠山市辻地区で農村ボランティア会員研修会を開きました。県内40カ所のふるさとむらの多くでは、草刈り作業が大きな負担となっていることから、ボランティア会員の方々に草刈り機の正しい使い方を研修していただき、短時間で効率良く広い面積の草刈りを行っていただくことを目的に実施しました。

バスで神戸を出発し、1時間10分ほどで篠山市辻公民館に到着。当日直接現地に集合された皆さんと一緒に、まずは辻地区の生産組合についての説明や、特産品を育成するとともに都市住民の方が自由に作付けできる「共同菜園」についてのお話をお聞きしました。当日は、既に辻地区に登録されているボランティアの方々も、黒豆の苗の植え付けと下草刈り作業を行っておられました。

草刈り機の研修は、参加者30名を3班に分け、それぞれの班が生産組合のインストラクターと一緒に3カ所の放棄田へ向かいました。ひとつの班

に8~9台準備していただいた草刈り機を前に使い方の説明を聞いた後、交代で作業を体験。刃の回転の速さに驚く方や、あっという間に草を刈り取っていく快感に、夢中で作業される方。午前中の1時間半ほどで、3カ所の放棄田の草がほとんど刈り取られていきました。

昼食は、近くの稻荷神社で地元の方が用意してくださったお弁当をいただきました。涼しい日陰で天然記念物の四本杉を見ながら、汗もひいていくようでした。山から流れてくる冷たい水を口に含んだり、手や顔を冷やしたりして身体を休めました。

午後は、各班で午前中に刈り残した田をきれいに片付けた後、1~2年手つかずだった放棄田に移動。農道や水路の両面など、少し勾配のついた場所もある広大な面積。「せめて道沿いだけでも」との地元の方のご希望でしたが、熱心な作業が続き、予定時間いっぱいを使い、全て終了。参加者の方も大きな達成感を感じられたようでした。

研修会後のアンケートでは、今回の草刈り研修をこれからの活動に活かしたいとの声をたくさんいただきました。



今後予定している研修会等のご紹介

農村ボランティア活動研修会

- 平成21年 9月12日(土)
ふるさとむら河内こうち 【市川町】 ……リンゴ園の下草刈り
- 平成21年10月下旬
ふるさとむら倭文しとおり 【南あわじ市】 ……草刈りとワイン用ぶどうの植え付け
- 平成21年11月 7日(土)
ふるさとむら東芦田ひがしあした 【丹波市】 ……小豆の収穫
- 平成21年11月中旬
ふるさとむら新野にいの 【神河町】 ……



農村ボランティア事務局はここに 있습니다



兵庫楽農生活センター (神戸市西区神出町)



「楽農生活」とは、日々の暮らしの中で食と「農」に親しみ、より人間らしく豊かに生きるライフスタイルのことです。

兵庫楽農生活センターでは、誰もがこの「楽農生活」を体験し実践できるよう、また気軽に「農」の大切さを学べるよう、さまざまな施設を整備し体験イベントなどを開催しています。

農村ボランティア事務局は、この楽農生活の実践の拠点である「兵庫楽農生活センター」内にあります。(写真正面の建物「交流館」内)



農村ボランティア事務局より

今年4月、農村ボランティア事務局である楽農生活センター楽農交流課の職員が替わりました。

楽農交流課長	藤原 誠 (ふじはら まこと)
楽農交流課員	山脇 和代 (やまわき かずよ)
楽農交流課員	中島 剛 (なかじま ごう)
コーディネーター	戸田 清敏 (とだ きよとし)

研修会等への積極的なご参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

編集・発行 (社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農交流課 農村ボランティア事務局

所在地 : 〒651-2304 神戸市西区神出町小束野 30-17

電話 : 078-965-2651 FAX : 078-965-2653

e-mail : koryu@forest-hyogo.jp HP : http://hyogo-rakunou.com/07_nouson_bora.html

